

RACE REPORT



**SUPER
FORMULA**

Round.09 **FUJI**

第9戦 富士スピードウェイ

2025 年 10 月 11 日 (土)

予選・決勝

天候：雨 路面：ウエット

#38 阪口 晴南

予選 9 番手 決勝：9 位

#39 大湯 都史樹

予選 6 番手 決勝：6 位

2025 年の全日本スーパーフォーミュラ選手権は、第8戦から約2ヶ月のインターバルで、第9戦・第10戦を迎えた。舞台は第6戦・第7戦同様、富士スピードウェイだ。

SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING は、曇り空のもと 10 月 10 日 (金) に行われた2回の専有走行

に臨み、ニュータイヤを投入し予選アタックシミュレーションを行った専有走行2回目では、阪口晴南が5番手、大湯都史樹が6番手と好位置につけた。ただ上位は僅差で、わずかな差が大きな順位の違いに繋がってくる。チームは 10 月 11 日 (土) の予選に向け、調整を続けていった。

QUALIFY 公式予選

10 月 11 日 (土) 10:10 ~ 10:51 天候：雨 路面：ウエット
ベストタイム #38 阪口晴南 1'32.182 / #39 大湯都史樹 1'33.296

迎えた 10 月 11 日 (土) の第9戦だが、この日の富士スピードウェイは朝から雨模様。午前 10 時 10 分から始まった Q1 の A 組は、細かい雨粒が降り続きコース上の水量はさほど多くはないものの、ウエットとなった。

気温 17 度／路面温度 20 度というコンディションで始まった予選だが、まず A 組に出走したのは阪口。前日好フィーリングを得ていたものの、僅差のなかでさらなるセットアップ向上に取り組んでいた。

この前日からの好フィーリングがウエットコンディションの中でも活きた。「ぶっつけ本番のウエットでの予選でしたが、Q1 のパフォーマンスは高かったです」と阪口はアタックを行い、5 周目には 1 分 32 秒 182 を記録。最終的に逆転を許しトップではなかったものの、2 番手で Q1 を突破してみせた。

続く B 組に出走したのは、「自分たちなりに良いところは見つけられてきている」と手ごたえを得て専有走行を終えていた大湯。少しずつ雨量が増える難しいコンディションのなか、大湯はチェッカーラップで 1 分 33 秒 296 を記録。6 番手にすべりこみ、SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING は 2 台が Q2 進出を果たした。

続く Q2 もウエットコンディションのまま行われ、やや水量が増えた状態でのアタックとなったが、多くの車両がタイヤをウォームアップさせ、いざアタックに入ろうかというタイミングで #15 岩佐歩夢が 100R でクラッシュしてしまい、赤旗中断となってしまった。その後セッションは再開されることはなく、その時点でのベストタイムが採用された。

阪口はピット位置の関係から満足にアタックすることができておらず 9 番手。それでもなんとかタイムが出せていた大湯は 6 番手という位置から決勝レースを戦うことになった。



RACE

決勝レース

10月11日(土) 14:59～16:04 天候:雨 路面:ウエット
ベストタイム #38 阪口晴南 2'40.399 (9L) / #39 大湯都史樹 2'43.193 (9L)



公式予選の後も、10月11日(土)の富士スピードウェイは細かい粒の雨が降り続いており、午後3時から迎えた決勝レースは変わらずウエットコンディションとなった。

スタート前のレコノサンスラップ時には粒が小さかった雨だが、決勝開始を前に雨粒が大きくなり、レースはセーフティカー先導のもとスタートが切られることになった。

ただ、各車がウィービングを繰り返しながらレース開始に向けて備えていくものの、巻き上がる水しぶきで視界が改善していかない。

セーフティカーは6周目に入った時点で、コンディションが回復しないことから、レースは一時赤旗中断となってしまい、全車がメインストレートで停止することになった。

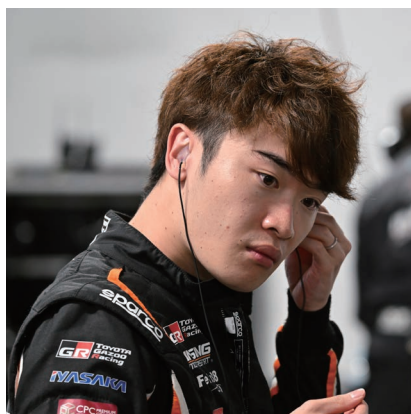
その後、一時雨が弱くなったことから、午後3時48分にふたたびセーフティカーランが再開されることになったが、雨が再度降り出し、視界が改善しない。午後3時スタートと遅めだったこともあり、視界は悪くなる一方。次第に霧も出はじめることになってしまった。

セーフティカーが13周目に入った時点で2回目の赤旗が出され、レースは14周終了時点でそのまま再開せず終了となってしまった。

レースはこの時点でハーフポイントながら成立しており、SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGINGの2台はグリッドどおり大湯が6位、阪口が9位と2台そろってポイントを獲得し第9戦を終えた。



COMMENTS ドライバー／監督コメント



38 阪口 晴南 SENA SAKAGUCHI

「公式予選ではQ1からパフォーマンスが高く、クルマも乗りやすかったです。危なげなくQ1を突破できましたが、Q2が7分間しかなく難しくなるかと思っていたのですが、ピット位置の関係もありなかなか良いタイミングでアタックもできず、赤旗の影響も受けてしまうことになりました。あの周は前走車がアタックを止めたので僕もアタックしなかったのですが、それがなければ良いタイムが出ていたと思います。本来、最終周に賭けるのが定石なので悔やんでも仕方ないですが、今日は決勝レースも含めて、本来の自分たちのパフォーマンスで帰ってくることはできませんでした。ただベースの速さ自体がしっかりできていた証拠になったと思っています」



39 大湯 都史樹 TOSHIKI OYU

「ウエットの予選になりましたが、自分の中ではまとめられたと思います。ただ前にクルマがいたので、ダウンフォースが抜けたり視界が悪かったりで、もう少しタイムを上げられた要素もあったかもしれません。なんとかタイム自体は出せたので良かったです。パフォーマンスはそこまで高くなかった印象がありますね。Q1からQ2への組み立ても良くありませんでした。決勝ではそのあたりを見直し、納得がいくパフォーマンスにはなったので自分としても期待はしていたのですが、あいにくの天候になってしまいました。安全に走れない状況になってしまったのは残念です。明日はドライになると思うのですが、悪くないと思うので上位に食い込みたいですね」



立川 祐路 監督 YUJI TACHIKAWA

「あいにくのウエットでのぶっつけ本番と、かなり難しい公式予選でしたが、2台ともにQ2に進出してくれたのは良かったです。ただQ2ではピット位置が悪く、クリアラップを取るタイミングをうかがう間に赤旗になってしまったので残念でした。ただピット位置は前年のランキング順なので、今後良い位置につけられるよう頑張るしかないですね。決勝レースについても雨量はそれほどでもなかったにしろ、とにかく視界が悪く、二度の赤旗中断で終了と残念なものとなりました。ウエットの調子が良さそうだったので、レースができなかったのは悔しいですが、仕方がないです。明日も第10戦があるので頑張りたいと思います。ぜひ応援よろしくお願いします」



RACE REPORT

RESULT リザルト

第9戦富士スピードウェイ 決勝結果

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Total Time	Gap
1	37	S. フェネストラズ	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD 01F	12	1:04'25.142	
2	1	坪井翔	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD 01F	12	1:04'26.393	1.251
3	16	野尻智紀	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	12	1:04'27.522	2.380
4	5	牧野任祐	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	12	1:04'32.168	7.026
5	64	佐藤蓮	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	12	1:04'34.315	9.173
6	39	大湯都史樹	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD 01F	12	1:04'35.938	10.796
7	6	太田格之進	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	12	1:04'38.578	13.436
8	65	I. オオムラ・フラガ	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	12	1:04'39.814	14.672
9	38	阪口晴南	SANKI VERTEX CERUMOINGING SF23	TOYOTA/TRD 01F	12	1:04'42.940	17.798
10	3	山下健太	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD 01F	12	1:04'44.378	19.236
11	4	Z. オサリバン	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD 01F	12	1:04'46.409	21.267
12	8	福住仁嶺	Kids com KCMG Elyse SF23	TOYOTA/TRD 01F	12	1:04'47.063	21.921
13	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE SF23	TOYOTA/TRD 01F	12	1:04'48.279	23.137
14	7	小林可夢偉	Kids com KCMG Cayman SF23	TOYOTA/TRD 01F	12	1:04'49.982	24.840
15	28	小高一斗	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD 01F	12	1:04'51.007	25.865
16	20	高星明誠	ITOCHU ENEX WECARS TEAM IMPUL SF23	TOYOTA/TRD 01F	12	1:04'52.394	27.252
17	19	O. ラスムッセン	ITOCHU ENEX WECARS TEAM IMPUL SF23	TOYOTA/TRD 01F	12	1:04'53.328	28.186
18	29	野中誠太	KDDI TGMGP TGR-DC SF23	TOYOTA/TRD 01F	12	1:04'54.492	29.350
19	12	三宅淳詞	ThreeBond SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	12	1:05'00.002	34.860
20	10	Juju	HAZAMA ANDO Triple Tree SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	12	1:05'02.372	37.230
21	15	岩佐歩夢	AUTOBACS MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	12	1:05'04.083	38.941
22	50	小出峻	San-Ei Gen with B-Max SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	12	1:05'05.136	39.994

以上完走

ドライバーランキング（上位）

Rank.	No.	Driver	Total
1	36	坪井翔	104.5
2	15	岩佐歩夢	90
3	6	太田格之進	89
4	5	牧野任祐	78
5	16	野尻智紀	63.5
6	37	S. フェネストラズ	47
7	38	阪口晴南	34
8	64	佐藤蓮	33
9	65	I. オオムラ・フラガ	31.5
10	8	福住仁嶺	28
13	39	大湯都史樹	18.5

チームランキング

Rank.	Team	Total
1	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	155
2	VANTELIN TEAM TOM'S	139.5
3	TEAM MUGEN	133.5
4	PONOS NAKAJIMA RACING	62.5
5	SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING	51.5
6	Kids com Team KCMG	50
7	KONDO RACING	29.5
8	docomo business ROOKIE	13
9	San-Ei Gen with B-Max	3